

我们无法改变天灾，但可以改变受灾程度 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/243/2021\\_2022\\_\\_E6\\_88\\_91\\_E4\\_BB\\_AC\\_E6\\_97\\_A0\\_E6\\_c105\\_243522.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/243/2021_2022__E6_88_91_E4_BB_AC_E6_97_A0_E6_c105_243522.htm)

物理学者の寺田寅彦は、防の大切さをことあるごとにく警世家でもあった。1935年（昭和10年）に亡くなる直前、地震の研究にくかかわってきた感想を、『考』としてしている。物理学家寺田寅彦也是位警世家，屡次强调防灾的重要性。1935年（昭和10年），他在去世前不久，以《灾难杂考》为题，将长期潜心于地震研究的感想记录下来。プレートがぶつかり合う位置にある列の危うさを、寅彦は「日本の国土全体が一つのつりの上にかかっているようなもの」と例えた。そして「つりの索が、あすにも断たれるかもしれないという、かなりな可能性を前に控えている」と警をらしている。寅彦先生曾将日本列岛位于地壳板块交接处的危险比喻成“日本整个国土就象是吊在一个吊桥上”。而且，他警告说：“吊桥的钢索说不定明天就会断裂，我们面临的现实是这种可能性很大”。寅彦の代にはなかった々な人工物が、いま、不安定な「つり」の上にひしめいている。全国に55基を数える原もそうだ。その一つ、京力柏崎刈羽所が、新中越地震にさぶられ、多くの弱点があぶり出された。如今，寅彦时代所没有的各种人造的东西拥护在这座不安全的“吊桥”上。全国55座核电站就是其中之一。而其中的东京电力公司柏崎刈羽核电站因新泻县中越海域地震而受损，暴露出许多问题。そもそも建の、直下にある断を逃していたという。微量だが、放射能が海や大中に漏れた。器はを上げ、消

せないまま燃えけた。あわてた国のべで、他の原のお寒い防体制も分かってきた。これでは55本のが、国民の上に、ゆらゆらつり下がっているようなものだ。据说当初建设核电站时，没有发现地底下有地壳断层。事故中有少量放射性元素泄露到大海和空气中。变压器冒着黑烟，无法灭火，一直在燃烧。据国家紧急调查发现，其它核电站的防灾体制也很不完善。这样一来，就象是有55支剑悬挂在国民的头上。根のない「安全神」が、原にもあるとく。々な神の数だけ、その崩する悲があった。ジャンボもかつては、まことしやかな「（お）ちない神」に彩られた。22年前に日本で崩れたのは、になお明だ。听说毫无根据的“安全神话”，核电站也存在。有多少神话，就会发生多少神话破灭的悲剧。大型客机也曾经被煞有介事地渲染成“不坠神话”。而22年前在日本发生的坠机事件（1985年日本“8.12”空难），留给人们的记忆是何等深刻。地震はどうにもならないが、被害は人次第。それが寅彦の持だった。必要なのは空な「神」ではない。今回の教を生かした「」であろう。地震是无法避免的，可是受灾程度却可以人为改变。这就是寅彦的观点。我们需要的不是空洞的“神话”，而是吸取此次教训、有所改变的“事实”。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)